

社会民主党機関紙

NO.107  
熊本県版

# 社会新報

THE SHAKAI SHIMPO

2026年秋号 ( 曜日 ) 号外

発行所

社会民主党全国連合機関紙宣伝局

週刊(木曜日発行)

〒104-0043 東京都中央区湊3-18-17マルキ熊本ビル5F

電話代表 03(3553)3787・振替 00140-1-3203

●定価185円 ●1ヵ月720円 ●送料168円

## 熊本地震の教訓を胸に、命と人権を守る防災へ

### 『月刊社会民主』をご講読ください

社民党熊本県連合代表の今泉克己です。あの震度7の大地震から月日が流れましたが、今なお私たちは、被災の記憶と支援のあり方について深く考えさせられます。

今回ご紹介したいのは、『月刊社会民主』2026年9月号に掲載された雨宮処凛さんの連載記事「避難所にも困窮者施設にもエアコン設置急げ」です。

記事のなかで雨宮さんは、熊本地震当時、発生から48時間が過ぎても体育館で雑魚寝を余儀なくされていた避難現場の過酷な現状を振り返っています。「ミサイルよりクーラーだろう!」という心の底からの叫びは、まさに命の危険に直面していた被災者の切実な声そのものでした。一方で海外に目を向ければ、イタリアでは48時間以内に温かい食事・ベッド・トイレ(TKB48)が整備され、台湾の地震では発生からわずか3時間でプライバシーに配慮したテントが設置されています。なぜ日本では、阪神・淡路大震災の時代から避難所の光景がアップデートされないのでしょうか。

防災や避難所対策は、単なる「非常時の我慢」ではなく、人の命と尊厳を守る「人権の問題」です。非常時だからこそ、政治の姿勢や命に対する向き合い方が顕著にあらわれます。

『月刊社会民主』は、現場の声や生活者の現実に根ざし、命や人権が置き去りにされない社会をつくるための視点を提供し続けています。被災地の経験を真の防災・支援へとつなげていくために、いま何が必要なのか――。

市民の皆様は、ぜひ一度手に取って読んでいただきたい一冊です。これからの地域と人々のくらしを守る言葉と思想が、ここには詰まっています。ぜひ『月刊社会民主』のご講読・ご支援をお願い申し上げます。

避難所にも困窮者施設  
にもエアコン設置急げ

